

人づくり、新時代を切り拓く。▶ 未来へ、責任



下村 ぶん博文

使命感が原動力

私は、9歳の時に交通遺児になったのが政治家を志した原点です。「人を幸せにする仕事、それが政治だ」が信条です。現在の日本の危機はまったなしです。活力あふれる日本を取り戻すために、全身全霊をかけて政治に取り組みます。

下村博文

啓育立国・教育立国で

ウェルビーイング・教育の無償化、一人ひとりを大切にし、自らの意欲、やる気を育む啓育を教育無償化で。

憲法改正

「自衛隊の明記」「緊急事態条項」「教育の無償化」「合区解消」未来を見据えた安全と「憲法は国民のもの」、「国を守る」という日本国民のゆるぎない決意をもって憲法改正に取り組み。

大胆な「危機管理投資」と「成長投資」で強い経済を実現

●食料安全保障の確立 ●エネルギー・資源安全保障の強化 ●令和の国土強靱化計画 ●サイバーセキュリティ対策の強化 ●成長投資の強化

ひきこもり、孤立・孤独対策

ひきこもり対策議員連盟会長として不登校児30万人、ひきこもり百五十万人、孤独孤立とその家族の合計約千四百万人。デジタル技術による就業支援など、様々な支援の拡充を提言。

地域活性化

地元板橋の街づくりと活性化のために ●東上線の立体化と大山クロスポイント周辺地区市街再開発事業 ●上板橋駅南口駅前地区のまちづくり ●板橋駅西口周辺地区のまちづくり

プロフィール

- 1954年群馬県生まれ
- 早稲田大学教育学部卒業 ●1989年東京都議会議員に初当選
- 1996年衆議院総選挙において東京11区より初当選 ●内閣官房副長官、文部科学大臣兼教育再生担当大臣、自民党政務調査会長を歴任 ●当選9回



下村博文